

## 事業実績書

1 事業名 社会とつながるための若者就労準備支援とみんなでつくるイベント事業

2 実施期間 令和4年5月1日～令和5年2月28日

3 事業内容

### ①事業の目的・概要

ひきこもり状態の方々、障がい者と認定されない方々の支援は障がい者支援と比較して圧倒的に少なく、支援活動に取り組む団体も少ないため、備中地域の関係機関が連携し、社会との繋がりを失って孤立化していく若者に寄り添い社会との接点を繋げ、将来的に自立へと繋がるようなサポートを行う。

### ②事業の流れ等

<実施したこと>

#### 1. ものづくりによるひきこもり支援

【狙い】

ものづくりを通じて社会とつながる機会を得る。

【概要】

木工や縫製などの内職作業（下準備を含める）。

【対象者】

ひきこもり状態、あるいは何らかの理由で就労が難しい若者。

【内職作業者】

高梁川流域：倉敷市 実4名、総社市 実1名、高梁市 実1名

【実施内容】

○合同会社システム GenKi に事業管理（内職作業対象者との連絡、材料管理、検品、発送、営業活動支援等）の協力を得ながら、対象者に訪問（高梁市：8回）で内職の材料や技術指導を提供し、自宅で木工作业やアクセサリ作りの内職作業を行ってもらった。

○RSK ラジオ、FM ぐらしきで事業について周知した。

○ひきこもり状態を脱したいという方たちと面談をして、内職作業や弊団体事業所での作業を望む方に仕事を提供した。みんなでつくるイベント事業や店舗で販売する焼き菓子製造にも取り組んでもらった。

○内職作業から一歩進んで一般就労を希望された方には、就職支援を行った。望む職種を基に、企業や事業主と交渉し、面接を経て、2名が採用された。

#### 2. みんなでつくるイベント事業

【狙い】

接客・販売等の就労体験を通じて社会とのつながりを作る。

【概要】

イベントでの弁当等の準備・弁当等の販売・接客・片付け。

【対象者】

ひきこもり状態、あるいは何らかの理由で就労が難しい若者。

【実施地域】

高梁川流域：倉敷市、総社市

【参加者】

高梁川流域：倉敷市 延べ40名

### 【実施内容】

○NPO法人KUKKA/MammaCafeに弁当作りの協力や接客方法の助言の協力を得ながら、対象者にイベントで接客や販売の体験をしてもらった。対人面での作業が苦手な方は、準備（弁当の盛り付け等）や片付けを行ってもらった。

・倉敷路地裏マルシェ

(6/4、6/18、7/2、7/16、10/15、10/29、11/5、11/12、12/3、1/21、2/4)

・総社雪舟公園フリーマーケット (7/2)

・備中伝統芸能フェスティバル「藤戸」演能会 (7/31)

・高梁川流域マルシェ andF フェス (9/4)

・高梁川流域SDGs フェスタ (9/24、9/25)

・高梁川流域イノベーションフォーラム (2/23)

○食品衛生管理責任者の資格を取得し製菓業に取り組み、販売商品の拡大を図った。

○RSK ラジオ、FM ぐらしきで事業について周知した。

### 3. 関係機関とのネットワーク作り

#### 【狙い】

ひきこもり支援ネットワークの構築・不登校児支援事業への取り組みのきっかけを作る。

#### 【概要】

関係機関に事業を広く周知し、支援実施地域を増やす。

#### 【実施地域】

高梁川流域：倉敷市、総社市、早島町、笠岡市、井原市、浅口市、里庄町、矢掛町  
高梁市、新見市

#### 【実施内容】

○ひきこもり状態、あるいは何らかの理由で就労が難しい若者を支援している関係機関に対し、弊団体が事業を周知した。

・事業周知を行った関係機関：高梁市役所

○備中保健所から備中県民局管内市町（総社市、早島町、笠岡市、井原市、浅口市、里庄町、矢掛町、高梁市、新見市）、総社市ひきこもり支援センター、備中県民局管内保健所・支所（備中保健所井笠支所、備北保健所、備北保健所新見支所）に、弊団体が作成した事業案内パンフレットを送付してもらい、支援対象者に事業利用の提案を依頼した。

○NPO 法人笠岡を元気にする会と連携し、R5 年 3 月より笠岡市と里庄町で焼き菓子と雑貨を販売する予定。

### ③成果・効果

#### 1. ものづくりによるひきこもり支援

- ・目標：ひきこもり状態、あるいは何らかの理由で就労が難しい若者が一人でも多く、ものづくりを通じて社会とつながり、一歩ずつ就職や通学等の目標に近づくことができる。
- ・成果：6名（実）に内職作業を提供し、その内、2名がアルバイトに就くことができた。

評価指標・測定方法	数値目標		
	当初	今年度	実績
・支援対象者数	5名	10名	6名
・商品取扱店舗数	3店	5店	6店

#### 2. みんなでつくるイベント事業

- ・目標：ひきこもり状態、あるいは何らかの理由で就労が難しい若者が、イベント事業に参加することで、社会とつながる体験を得ることができる。
- ・成果：延べ40名が参加し、不登校状態から通学という一歩を踏み出した方もいた。

評価指標・測定方法	数値目標		
	当初	今年度	実績
・イベント事業参加者数	未実施	延べ30名	延べ40名

### 3. 関係機関とのネットワーク作り

- ・目標：障がい者支援の枠組みから外れてしまう方々が利用できる社会資源として、事業が広く周知され、支援実施地域を増やすことができる。
- ・成果：

評価指標・測定方法	数値目標		
	当初	今年度	実績
・支援実施地域数	3市 倉敷市・総社市 井原市	5市	7市3町 倉敷市・総社市・早島町・笠岡市 井原市・浅口市・里庄町・矢掛町 高梁市・新見市

#### ④今後の課題・展開等

- ・今後は自主事業として、ものづくりによるひきこもり支援、みんなでつくるイベント事業を継続する。（NPO 法人笠岡を元気にする会と連携し菓子販売事業を拡大する。若い年齢層への支援を強化する。）
- ・一般就労を目指す方と企業をつなぐ就労支援に取り組む。
- ・活動エリア及び事業内容の拡大に伴う作業量の増加により、対象者によっては負担を感じるため、配慮しながら対応していくことが必要である。

#### ⑤県民局と協働した効果及び課題

- ・『備中伝統芸能フェスティバル「藤戸」演能会』（備中県民局提案型協働事業）に物販出店し、みんなでつくるイベント事業を実施することができた。
- ・備中県民局管内市町等に事業を周知することができた。
- ・協働により、事業の成果を挙げられたという実感は、あまり感じられなかった。

## 4 参考事項・資料

### ①ものづくりによるひきこもり支援





②みんなでつくるイベント事業

